

文化財への道

町政情報

福祉

健康

子育て

情報いろいろ

浄土アタリ

相談

まちのカレンダー

文化財

げんき 元龜2年 (1571) みくさやませいざんじ 三草山清山寺 焼き討ち

むかし推古天皇の時代、百濟の王に仕えていた日羅上人^{にちらしょうにん}が帰国して、能勢の〆峰高く白衣をまとうがごとき美山、に靈氣がただよふのを発見しました。

もっと昔、神功皇后の三韓征伐のとき、「私の山の杉で造った船で遠征すれば必ず成功するでしょう」と教えた美奴売神^{みぬめのかみ}が住んでいたという山です。

上人が登ってみると目の前に白髪頭の老人^{しらがあたま}が現れ、「仏法興隆の地となすべし」と告げ、三本の草を授けて飛び去りました。一本の草は千手観音、二本の草が不動明王と毘沙門天^{びしゃもんてん}になりました。上人は感激して、さっそくここにお堂を建て、千手観音を本尊として安置し、「三草山清山寺」と名付けました。

貞観14年(872)清和天皇の時、6所権現^{しよごんげん}(熊野3所、吉野蔵王権現、立山権現、白山権現)を祀り鎮守としました。清和天皇を継いだ陽成天皇の勅命に依って、およそ450年後の元応2年(1320)、錦帳が開かれました。秘仏であった三尊の厨子の扉が開かれて、一般の人たちが見て拜めるようになったようです。このころ、「あたりの49谷に49院あり」と記録されています。

正中元年(1324)、風水害に遭い、頂上から8合目に移し祀られました。

元龜2年(1571)12月14日、織田信澄軍が乱入し、古代からの北摂の名刹三草山清山寺は焼き払われてしまいました。天を焦がすほどの火煙の中を本尊は村里に移されました。(その後、明治41年に神山の慈眼寺に移されました)

この焼き討ちで、山田城の山田八郎四郎安清が戦死しました。長谷城の長谷一貞^{ながたに はせいつてい}が打ち取った敵の首やその血は、大木や石とともに炭塵^{すみちり}となって山を流れ下ったといわれ、その跡地は〆黒滝^{くろたき}と呼ばれています。

文・平尾 悦子



人の動き [7月1日現在]

() 内は前月比

人	口	9,775 (-27)
	男性	4,749 (-15)
	女性	5,026 (-12)
世帯数		4,575 (-7)
転入		17 (+4)
転出		37 (+17)
出生		2 (+1)
死亡		9 (-1)

6月中の交通事故発生状況

種別	能勢町	豊能町	合計
人身事故	0件	1件	1件
程度	死亡	0人	0人
	重傷	0人	0人
	軽傷	0人	1人
物損事故	15件	27件	42件
総件数	15件	28件	43件

横断歩道ハンドサイン運動実施中

(能勢町交通事故をなくす運動推進本部)